

OPN Term, OPN IME の利用方法

株式会社オプトエレクトロニクス

目次

1. 概要.....	3
1.1 OPN Termについて	3
1.2 OPN IMEについて	3
2. OPN Term接続手順.....	3
2.1 OPN-2002 をスレーブに設定して接続する	3
2.3 OPN-2002 をマスターに設定して接続する	5
3. OPN Termを操作する	6
3.1 読み取りデータ表示機能	6
3.2 保存ボタン	6
3.3 クリアボタン	6
3.4 設定ボタン	6
4. OPN IME接続手順.....	7
4.1 入力方法をOPN IMEに変更する	7
4.3 OPN-2002 をスレーブに設定して接続する	8
4.4 OPN-2002 をマスターに設定して接続する	9
5. IMEアプリケーションを操作する	10
5.1 読み取りデータ表示機能	10
5.2 キーボードの変更方法.....	10
5.3 設定ツール	10
Appendix-A. 設定用メニューバーコード	11
Appendix-B. Android 端末のBluetooth設定	12

改版履歴

資料管理番号：SI12024

発行番号：Rev.1.1

製品名：OPN-2002i Series / OPN-3002i Series

版	日付	変更箇所	内容
Rev.1.0	2012/8/3	－	新規作成
Rev.1.1	2013/03/20	－	OPN-2002i Series/OPN-3002i Series を追加 OPN IME の説明を追加

1. 概要

1.1 OPN Termについて

OPN Term は OPN-2002 と OPN-3002 を対象に Android 端末と Bluetooth SPP にて接続し、読み取ったバーコードデータを表示、保存するアプリケーションです。また、OPN-2002/OPN-3002 の「読み取り許可設定」「バーコードオプション設定」「プリフィックス・サフィックス設定」などの設定が可能です。

本書内での OPN-2002 に関する解説は全て OPN-3002 にも共通となります。

1.2 OPN IMEについて

OPN IME は OPN-2002 と OPN-3002 を対象に Android 端末と Bluetooth SPP にて接続し、読み取ったバーコードデータをキーボードデータに変換するアプリケーションです。本アプリケーションを利用することで、読み取ったバーコードデータをメモ帳などの任意のアプリケーションのテキスト入力欄に入力することが可能です。

本書内での OPN-2002 に関する解説は全て OPN-3002 にも共通となります。

2. OPN Term接続手順

2.1 OPN-2002 をスレーブに設定して接続する

OPN-2002 をマスターに設定して接続する場合は、この手順は不要です。

次項のマスター接続の手順を行って下さい。

- ① Bluetooth をオンにする。

※Bluetooth の設定は巻末 Appendix を参照下さい。

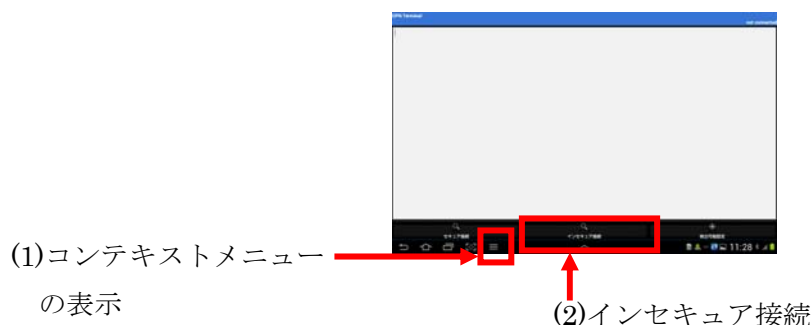
- ② OPN-2002 を SPP スレーブモードに設定します。

※スレーブモードにする方法は OPN-2002 の Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

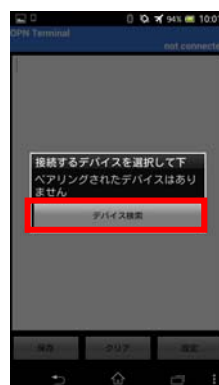
- ③ OPN-2002 のトリガキーを指定時間長押しします。

OPN-2002 の青 LED が点滅して相手機器からの接続待ち状態になります。

- ④ OPNTerm のコンテキストメニューよりインセキュア接続を選択します。



- ⑤ OPN-2002 が既にペアリングされている場合は、一覧からデバイスを選択します。
一覧に無い場合は、デバイス検索ボタンを押下して、デバイスを検索します。



ペアリング済みデバイスを選択します。 一覧に無い場合は、デバイス検索します。

- ※ セキュア接続を選択した場合は、PIN コード入力画面が表示されますので、PIN コード(1234)を入力し、OK ボタンを押下します。

- ⑥ 接続が完了すると OPN-2002 の青 LED が消灯し接続完了音が鳴り、画面上の接続状態表示が not connected から connected へ切り替わります。

- ※ 接続が完了すると OPNTerm は OPN-2002 に対し、ACK/NAK 制御あり「P3」、コマンド応答あり「WC」のコマンドを送信し設定します。ACK/NAK 制御なし設定に戻す場合は巻末のメニューコード「ACK/NAK 制御なし／コマンド応答無し」の設定を追加して下さい。

2.3 OPN-2002 をマスターに設定して接続する

OPN-2002 をスレーブに設定して接続する場合は、この手順は不要です。
前項のスレーブ接続の手順を行って下さい。

① Bluetooth をオンにする。

※Bluetooth の設定は巻末 Appendix を参照下さい。

② OPN-2002 を SPP マスターモードに設定します。

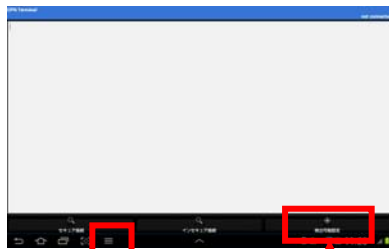
※マスターモードにする方法は OPN-2002 の Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

③ Android 端末の Bluetooth アドレスを OPN-2002 に設定します。

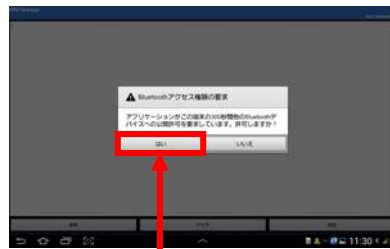
※Bluetooth アドレスを設定する方法は OPN-2002 の Quick Start Guide または取扱説明書を参照して下さい。

④ OPNTerm のコンテキストメニューより、検出可能設定を選択します。

(Bluetooth アクセス権限の要求が表示された場合は、「はい」を選択します)



(1)コンテキストメニュー
の表示



(3)Bluetooth アクセス権限の要求
“はい”

⑤ OPN-2002 のトリガキーを指定時間長押しします。

青 LED が点滅して接続を開始し、接続完了音が鳴ると、画面上の接続状態表示が not connected から connected へ切り替わります。

※ 接続が完了すると OPNTerm は OPN-2002 に対し、ACK/NAK 制御あり「P3」、コマンド応答あり「WC」のコマンドを送信し設定します。ACK/NAK 制御なし設定に戻す場合は巻末のメニューコード「ACK/NAK 制御なし／コマンド応答無し」の設定を追加して下さい。

3. OPN Termを操作する

3.1 読み取りデータ表示機能

画面上の接続状態が **connected** の状態で、OPN-2002 のトリガキーを押してバーコードを読み取ります。読み取ったバーコードデータは OPN Terminal の画面上に表示されます。



3.2 保存ボタン

保存ボタンを押下すると、画面上に表示されているバーコードデータをテキストファイルに出力することができます。

出力されたファイルは「/Android/data/jp.co.opto.opnterm2/data/」に「yyyymmddhhmmss.txt」の形式で保存されます。

3.3 クリアボタン

クリアボタンを押下すると、画面上に表示されているバーコードデータをクリアすることができます。

3.4 設定ボタン

設定ボタンを押下すると、設定ツール画面へ遷移し、「読み取り許可設定」「バーコードオプション設定」「プリフィックス・サフィックス設定」「インジケータオプション」「API デモ」の各機能を利用できます。

4. OPN IME接続手順

4.1 入力方法をOPN IMEに変更する

- ① Bluetooth をオンにする。

※Bluetooth の設定は巻末 Appendix を参照下さい。

- ② ホーム画面より設定を開き、「言語と文字入力」を選択します。




- ③ OPN IME を選択します。



4.3 OPN-2002 をスレーブに設定して接続する

OPN-2002 をマスターに設定して接続する場合は、この手順は不要です。
次項のマスター接続の手順を行って下さい。

- ① OPN-2002 を SPP スレーブモードに設定します。
※スレーブモードにする方法は OPN-2002 の Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。
- ② OPN-2002 のトリガキーを指定時間長押しします。
OPN-2002 の青 LED が点滅したら相手機器からの接続待ちとなります。
- ③ キー入力可能なアクティブなアプリケーションを開きます。
- ④  キー長押しでメニューを開き、インセキュア接続を選択します。



- ⑤ OPN-2002 が既にペアリングされている場合は、一覧からデバイスを選択します。
一覧に無い場合は、デバイス検索ボタンを押下して、デバイスを検索します。



※ セキュア接続を選択した場合は、PIN コード入力画面が表示されますので、PIN コード(1234)を入力し、OK ボタンを押下します。

⑥ 接続が完了すると OPN-2002 の青 LED が消灯し接続完了音が鳴ります。

※ 接続が完了すると OPNTerm は OPN-2002 に対し、ACK/NAK 制御あり「P3」、コマンド応答あり「WC」のコマンドを送信し設定します。ACK/NAK 制御なし設定に戻す場合は巻末のメニューコード「ACK/NAK 制御なし／コマンド応答無し」の設定を追加して下さい。

4.4 OPN-2002 をマスターに設定して接続する

OPN-2002 をスレーブに設定して接続する場合は、この手順は不要です。


前項のスレーブ接続の手順を行って下さい。

① OPN-2002 をマスターモードに設定します。

※マスターモードにする方法は OPN-2002 の Quick Start Guide または取扱説明書を参照してください。

② Android 端末の Bluetooth アドレスを OPN-2002 に設定します。

③ キー入力可能なアクティブなアプリケーションを開きます。

④  キー長押しでコンテキストメニューを開き、検出可能設定を選択します。

(Bluetooth アクセス権限の要求が表示された場合は、「はい」を選択します)



⑤ OPN-2002 のトリガキーを指定時間長押しします。

青 LED が点滅して接続を開始し、接続完了音が鳴ります。

※ OPN-2002 が接続認証在り設定の場合、PIN コード入力画面が表示されますので、PIN コード (1234) を入力し OK ボタンを押下します。

※ 接続が完了すると OPNTerm は OPN-2002 に対し、ACK/NAK 制御あり「P3」、コマンド応答あり「WC」のコマンドを送信し設定します。ACK/NAK 制御なし設定に戻す場合は巻末のメニューコード「ACK/NAK 制御なし／コマンド応答無し」の設定を追加して下さい。



5. IMEアプリケーションを操作する

5.1 読み取りデータ表示機能


キーボードとして OPN IME が選択されている状態で OPN-2002 よりバーコードを読み取ります。読み取ったバーコードデータがアクティブなアプリケーションのテキスト入力欄に入力されます。



5.2 キーボードの変更方法

 キー、または  キー押下により、「英字(小文字)」、「英字(大文字)」、「数字」、「記号」、「初期状態」のキーボード状態へ変更できます。

5.3 設定ツール

 キー長押しでメニューを開き、「設定」を選択すると、設定ツール画面に遷移します。設定ツールでは、「読み取り許可設定」「バーコードオプション設定」「プリフィックス・サフィックス設定」「API デモ」の各機能を利用できます。

Appendix-A. 設定用メニューバーコード

マスターモード設定

設定開始	 Z Z
接続モードの設定 マスターモード	 B C M A
設定終了	 Z Z

スレーブモード設定

設定開始	 Z Z
接続モードの設定 スレーブモード	 B C S A
設定終了	 Z Z

初期化設定(工場出荷時設定)

設定開始	 Z Z
初期化設定	 S 0
設定終了	 Z Z

ACK/NAK 制御なし／コマンド応答なし

設定開始	 Z Z
ACK/NAK 制御 なし	 X P 5
コマンド応答 なし	 W D
設定終了	 Z Z

Appendix-B. Android 端末のBluetooth設定

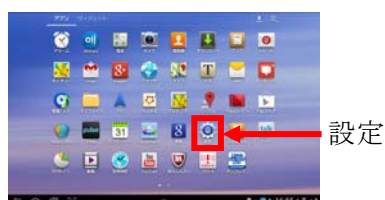
①Android 端末の Bluetooth をオンにする方法

アプリケーション — 設定 — 無線とネットワークから Bluetooth をオンにします。



②Android 端末の Bluetooth アドレスの調べ方

アプリケーション — 設定 — 端末情報 — ステータス から Bluetooth アドレスを調べる事ができます。



★ おことわり

- ・ 本書は間違いや、誤記の無いように注意して編集しております。万一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより、予告無く変更することがあります。
- ・ 本文中の以下の用語は、それぞれ各社の商標です。
 - Bluetooth は米国Bluetooth SIG の商標です。
 - その他の社名及び商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

運用に関しましては事前に実機によるテストを十分行って頂きますようお願いいたします。

2012/08/10